

平成 30 年度 第 3 回 学校関係者評価委員会 記録

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 19 日 (火) 10:40~12:00
- 2 場 所 本校会議室
- 3 出席者 廣森委員 (阿久根小校長), 井上委員 (前 PTA 会長), 野澤委員 (女性代表)
江夏委員 (阿久根警察署生活安全課課長代理)
校長, 教頭, 事務長, 教務・生徒指導・進路指導・保健各主任, 総合学科主任
1~3 学年主任 (合計 15 名)

4 会 順

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 学校関係者評価委員会
- ア 今年度実施した教育活動 (資料をもとに説明)
- (ア) 各部 (教務・生徒指導部・進路指導部・保健部・農場部・その他)
- (イ) 進路状況 (ウ) 検定・資格取得状況 (エ) 卒業予定者へのアンケート
- (オ) その他
- (4) 評価委員からの意見(質問)
- ア 井上委員~更衣時の脱いだ服の状況について
- 以前学校内を視察したとき, 教室に脱いだ制服が丸めたままであった。きちんと畳み整理する指導も必要ではないか。
- イ 廣森委員~う歯の治療率はどれくらいか。
- (回答) 30~40%程度, 50%を超えないのが現在の課題である。
- 阿久根小でも低い。PTAと協力しているがなかなか治療率が上がらない。生徒数は 457 名で取り組んでいる。高学年ほど悪い。(廣森委員)
- ウ 野澤委員~当たり前のことが当たり前ができるように。ある会社の方から新入社員の中に仕事の指示 1 つに対しては, 行ってくれるものの, その仕事が終わった後, 次の仕事をする事ができない。次の仕事を積極的に行う事ができない。指示すると不満そうな顔をすると聞いた。またあいさつができない者もいると聞いている。その点, 朝のあいさつ運動などの取組を聞いて安心しました。
- (回答) ひとくくりでは言えないが, あいさつがなかなかできない生徒もいるので, 積極的な声かけを行っている。
- エ 江夏委員~鶴翔高校生による事件的なことは, 赴任してから全くなく感心している。被害に遭わない取組も大切である。犯罪情報マップや「ながら見守り」などの活動を実施している。高校生の協力も欲しい。
- ボランティア活動はどんな事をしていきますか。(地域清掃, 生徒会主体の活動)

ぜひ、警察署への協力ボランティア活動を取り入れて欲しい。

「うそ電話詐欺」防止、「見守り隊」などに関するビラ配りなど、高校生が行ってくれるとお年寄りには効果が大きい。

(5) 信頼される学校作りのための委員会およびいじめ防止対策委員会
学校側より資料の説明

(6) 評価委員からの意見

ア 廣森委員～北薩地区の交通違反は阿久根署が大半を占めている。本校でも2、3件続いたので服務規律についての指導を行った。職員は遠方からの通勤が多いので、無理をせず、安全運転に心掛けるようお願いしている。

いじめ防止についても認知したら必ず記録をとり報告するようお願いしている。認知件数がないと言うことはあり得ない。何件になってもいいのであげてもらっている。

イ 井上委員～「発表体験」は大切な事だと認識している。自分の意見を人前で話すことを高校生活3年間ですることは良いことなので、ぜひ全ての生徒に機会を与えて欲しい。

ウ 江夏委員～進路関係（警察官）ぜひ欲しい。（今年1名受験、1次は合格、来年も受験する）ぜひ頑張ってもらいたい。

（井上委員から）警察学校時代に離職する新規採用者が多いと聞いているが、理由を知りたい。

体力的なもの、精神的なもの（部隊活動になじめない。）

オープンキャンパスを実施しているのでぜひ参加を

(7) 閉会のことば